

編集後記

「子どもと音」を特集した。歌や踊り、言葉遊びなどを通して音やリズムや音楽と親しみ、共鳴し、それに合わせて子ども同士も共に揺れる。L.クラークスのリズム論にあるように、昼と夜、波の打ち寄せ、心拍などの自然の生み出すリズムは決して等間隔の機械的な反復ではない。人はそのようなリズムを生き物として根底に抱きながら、人間的な音を楽しむのだろう。

小さい子どもは、うれしかったり待ち遠しかったりするとき、やたらにピョンピョン跳びはねる。見ていてよくあんなに跳び続けられるなど感心するほどだ。大人からすると無駄なエネルギー消費に見え、まねをしたらすぐにくたびれてしまう。こういうことをしない人間を「音なし（おとな）」というのもっともだと思う。(H)

幼児の教育 第107巻 第11号

平成20年11月1日発行
編集兼発行人 浜口順子
編集部 永山 綾
発行所 日本幼稚園協会
〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発売所 株式会社 フレーベル館
☎03-5395-6604 (編集)
振替 00190-2-19640
印刷所 図書印刷株式会社
定価 550円 (本体524円)
©日本幼稚園協会 2008 Printed in Japan

表紙絵 佐藤奈々
扉カット 佐藤奈々
扉題字 津守 眞
カット 斎藤明子
編集委員 伊集院理子
上坂元絵里

ご購入のお問い合わせは、
フレーベル館までお願いします。
☎03-5395-6613 (営業)

次号予告

〈特集〉第61回日本保育学会から

根津明子・徳田克己・亀谷和史・井上知香

・縄を^なう 町を^なう 宮里和則

☆次号の内容は都合により変更される場合があります。



ご意見・ご感想大募集

『幼児の教育』バックナンバーのネット公開が始まりました！

お茶の水女子大学附属図書館のHP上、教育・研究成果コレクション "TeaPot"
<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/>へアクセスしてご覧ください。

明治34年発行の創刊号から発行後2年以上たったものまで、順次公開していく予定です。ご意見・ご感想などは、youjimap@yahooc.yahoo.co.jpまでお寄せください。